

キッズ・モニターアンケートの概要 「食の安全・安心について」

アンケートの実施結果は、以下のとおりでした。
キッズ・モニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

概要

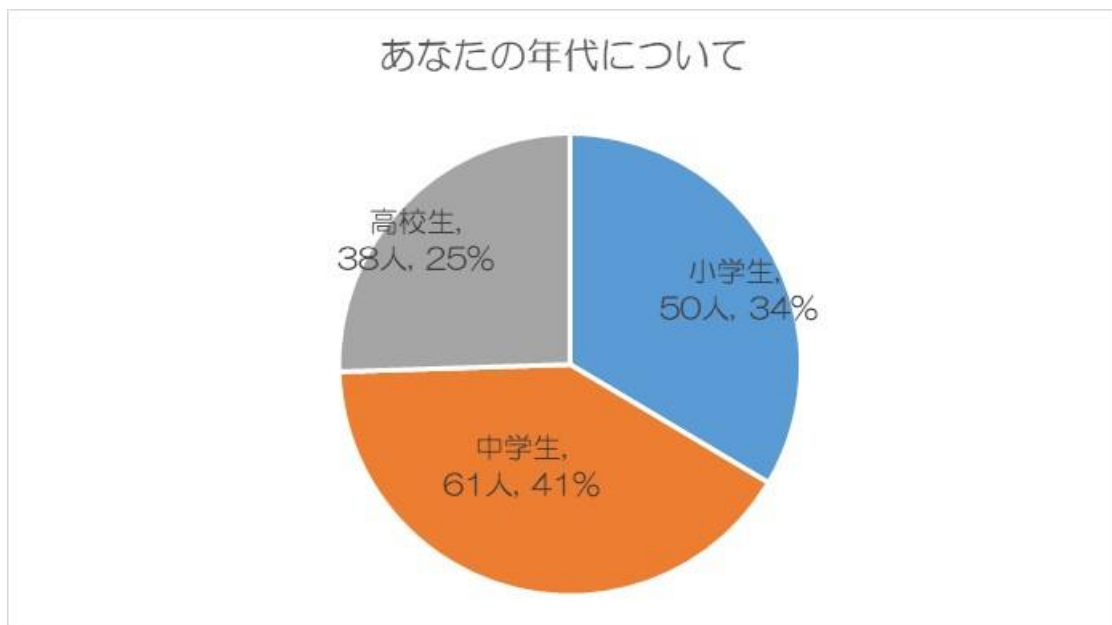
1. 実施期間 令和5年10月13日（金）～令和5年10月26日（木）
2. 回答者数 149人
3. 回答率 25.6%（149人／581人）
4. 実施方法 インターネットによるモニター調査
5. 担当課 農林水産部農産物安全・流通課

アンケート結果概要

Q1 あなたの年代はどれですか。

【単一回答】

今回答えていただいた方の年代は、下のグラフのようになりました。



Q2 毎日食べる食べ物に心配はありますか。

【単一回答】

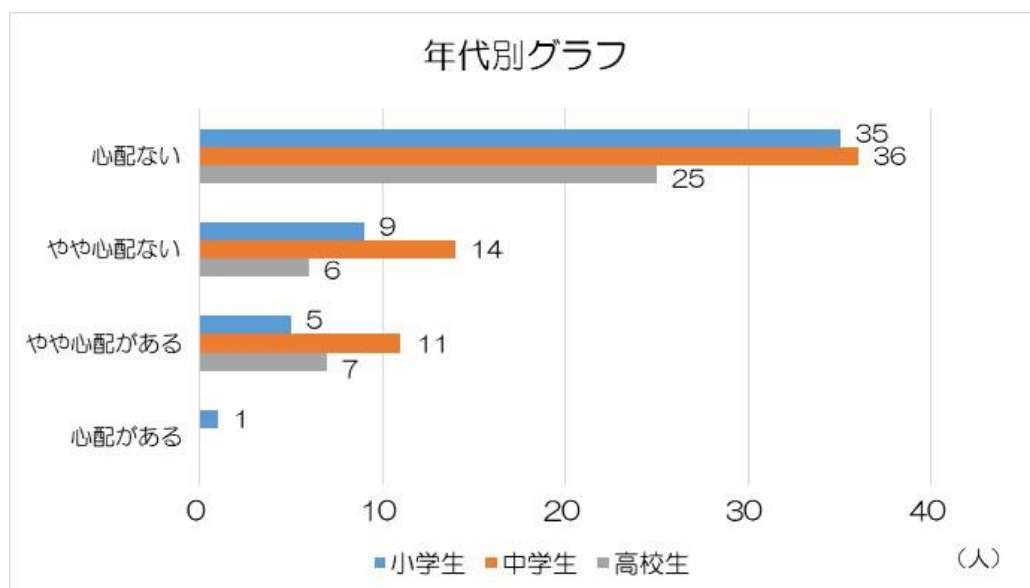
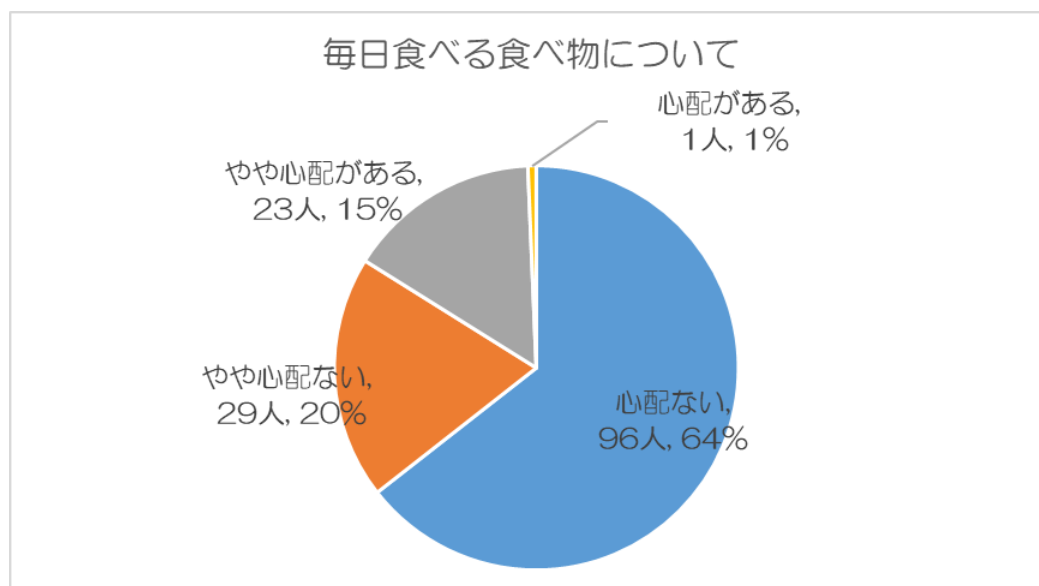
毎日食べる食べ物に対して「心配ない」と回答した人が64%と最も多く、「やや心配ない」と回答した人を合わせると84%となりました。一方で、16%の人が「心配がある」「やや心配がある」と回答しており、割合は昨年度とあまり変わっていません（※）。

年代別で見ると、全ての年代で「心配ない」の回答が半数以上となり、次いで「やや心配ない」、「やや心配がある」と回答した人が多くなりました。どの年代も、一定数の人が食べ物に対して心配していることがわかりました。

※参考 令和4年度の結果

「心配ない」「やや心配ない」…83%

「心配がある」「やや心配がある」…17%



Q3 外国から食べ物を輸入（ゆにゆう）していることを知っていますか。
また、その外国の食べ物は心配ですか。

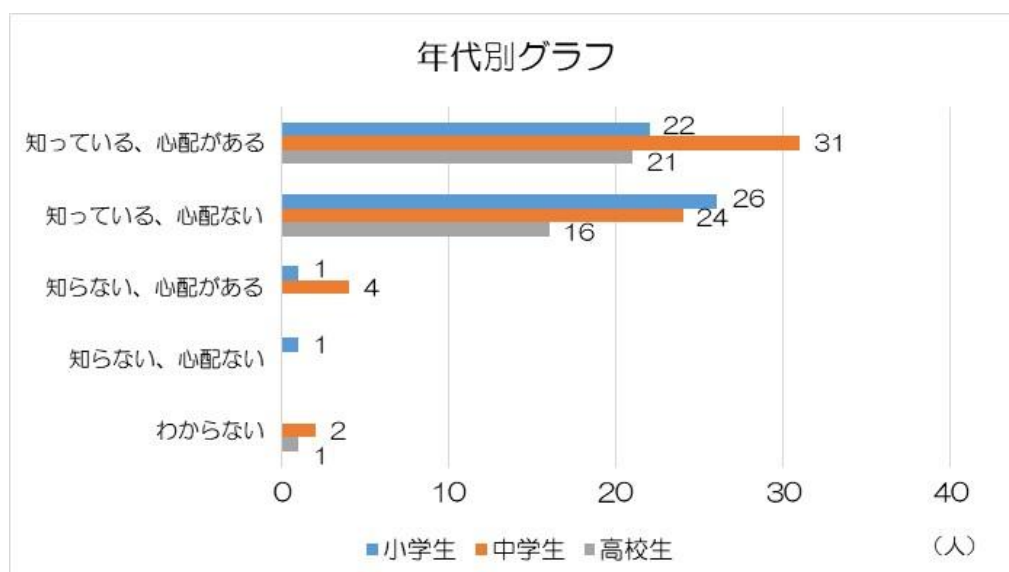
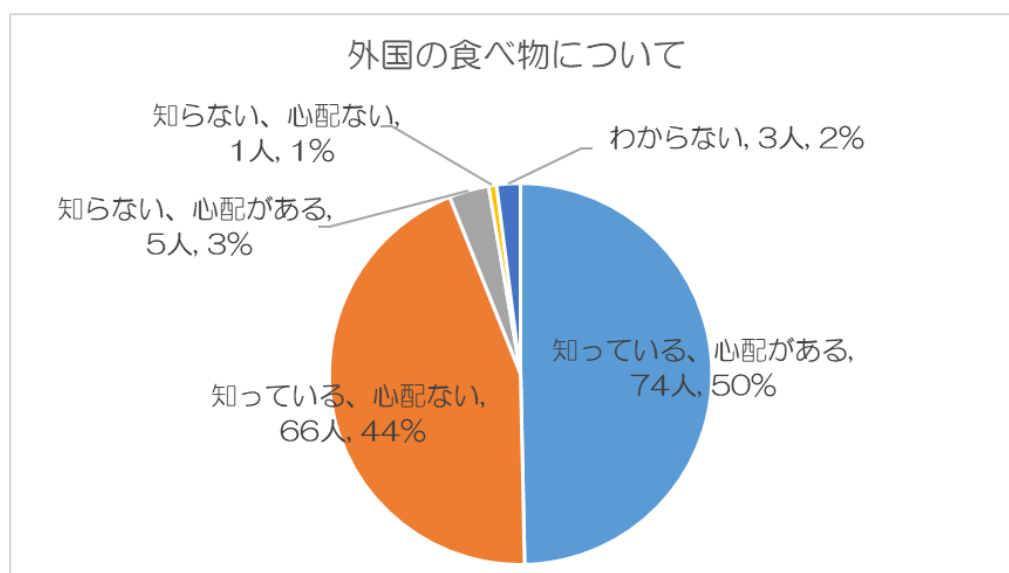
【単一回答】

外国から食べ物を輸入していることを「知っている」と回答した人が94%と、ほとんどの人が外国から食べ物が輸入されていることを理解しています。また、外国の食べ物について、「心配がある」と回答した人は53%と、「心配ない」と回答した人の45%を上回りました。

このことから、食べ物の安全性の基準は、輸入したのも国産のものもまったく同じであることを、より一層周知すべきであるとわかりました。

※参考 令和4年度の結果

「知っている」…95% / 「知らない」「わからない」…5%
「心配がある」…58% / 「心配ない」…39%



Q4 食べ物を長持ちさせたり、色や香りをつけたりするために、添加物(てんかぶつ)を使っていることを知っていますか。
また、その添加物を使った食べ物は心配ですか。

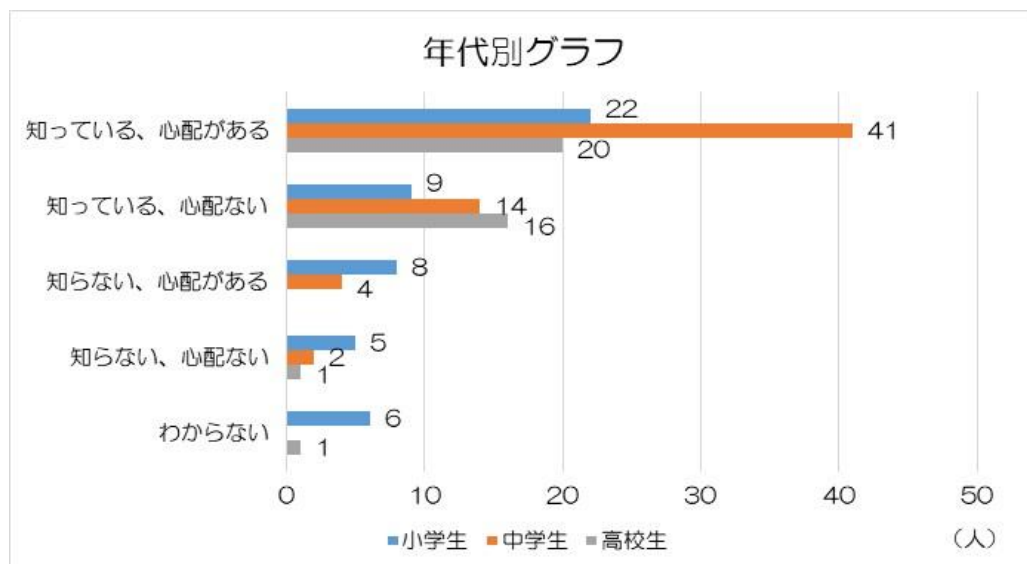
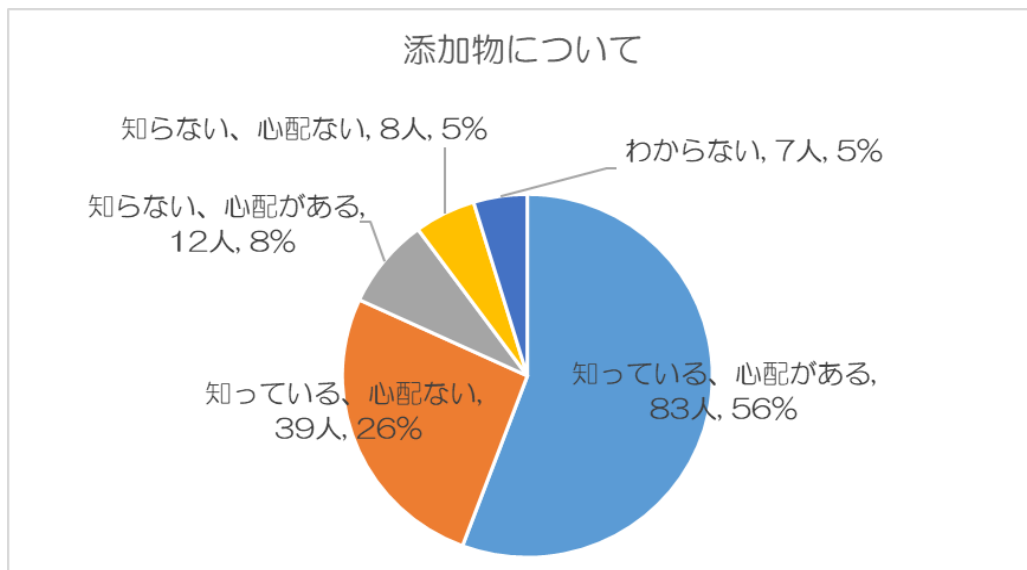
【単一回答】

添加物を使っていることを「知っている」と回答した人が82%と、多くの人が添加物を使っていることを理解しています。また、添加物を使った食べ物について、「心配がある」と回答した人は64%と、「心配ない」と回答した人の31%を上回りました。

このことから、添加物を多く使いすぎると、健康に害をおよぼすことがあります。適量で使うと、菌やカビの発生を防ぎ、食べ物を安全に保つことができることを、より一層周知すべきであるとわかりました。

※参考 令和4年度の結果

「知っている」…83% / 「知らない」「わからない」…17%
「心配がある」…59% / 「心配ない」…32%



Q5 米や野菜をつくるとき、病気や虫から守るために、農薬（のうやく）を使うことを知っていますか。
また、その農薬を使った食べ物は心配ですか。

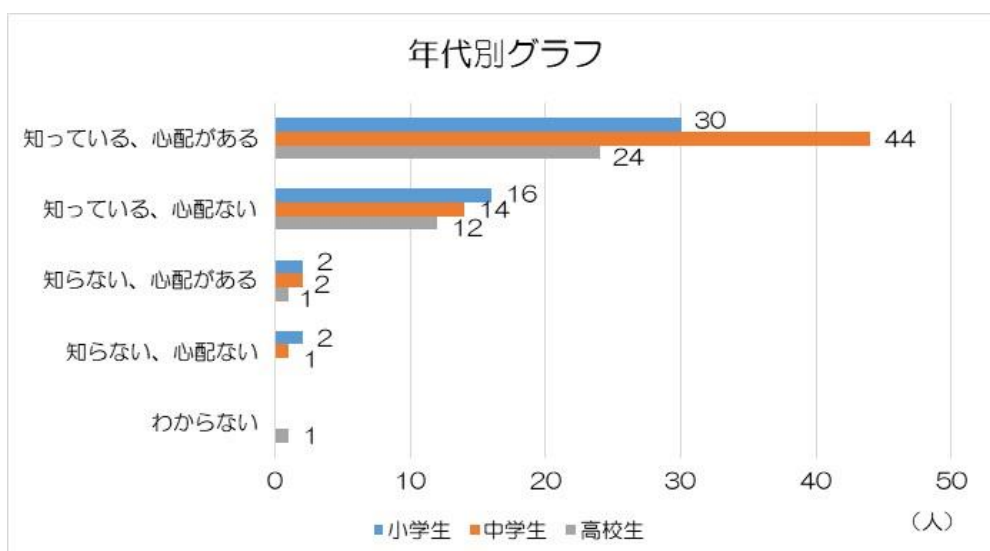
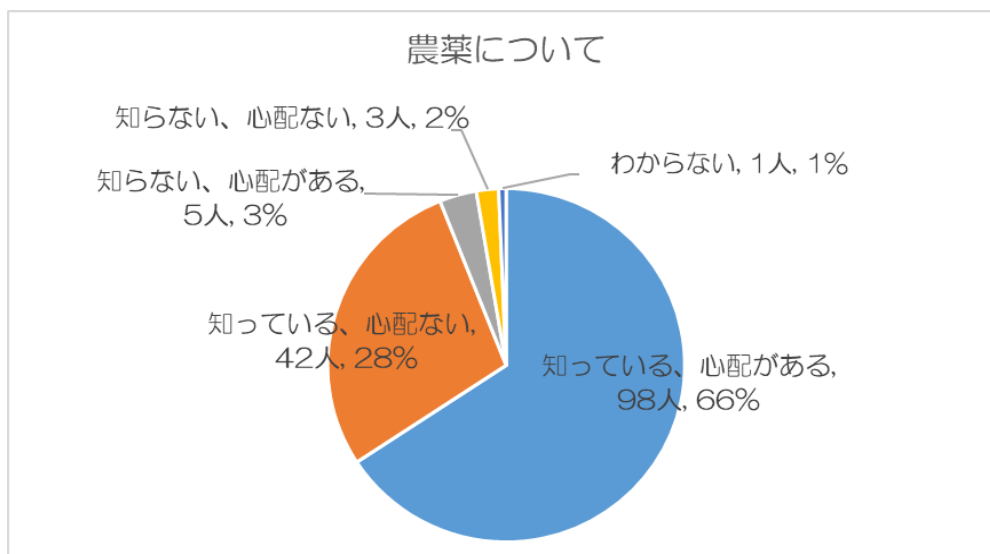
【単一回答】

農薬を使うことを「知っている」と回答した人が94%と、多くの方が農薬を使っていることを理解しています。また、農薬について、「心配がある」と回答した人は69%、「心配ない」と回答した人は30%と、約7割の方が農薬を使った食べ物を心配していることがわかりました。

このことから、農薬を使った食べ物の安全性を考えるときは、「農薬が残っているか、いないか」ではなく、「どのくらいの量が残っているか」が重要であること、また、その量の安全性について、周知すべきであるとわかりました。

※参考 令和4年度の結果

「知っている」…93% / 「知らない」「わからない」…7%
「心配がある」…65% / 「心配ない」…33%



Q6 食べ物の袋（ふくろ）に、消費期限（しょうひきげん）や原産地（げんさんち）などが表示（ひょうじ）されていることを知っていますか。また、その表示が正しいか心配ですか。

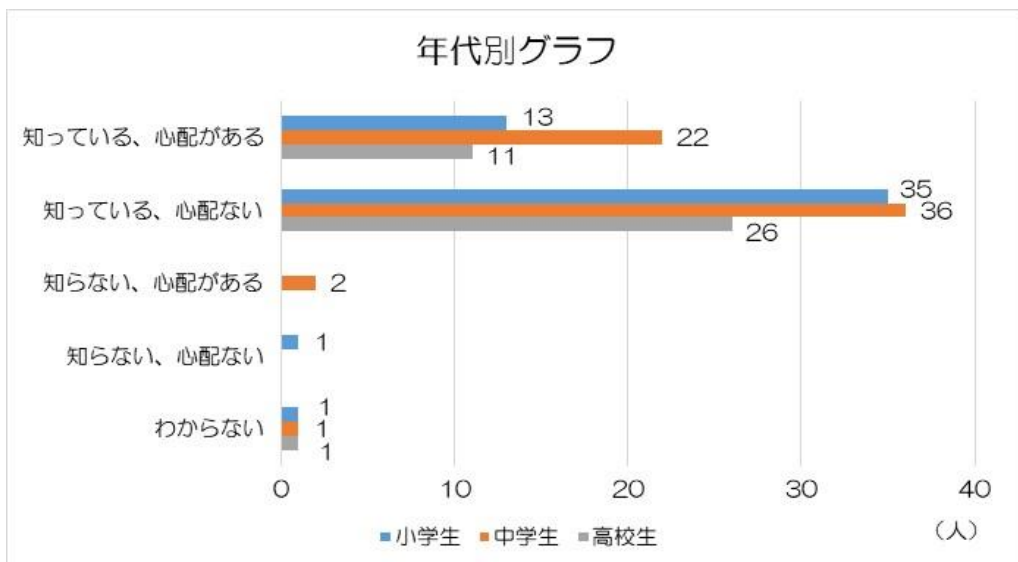
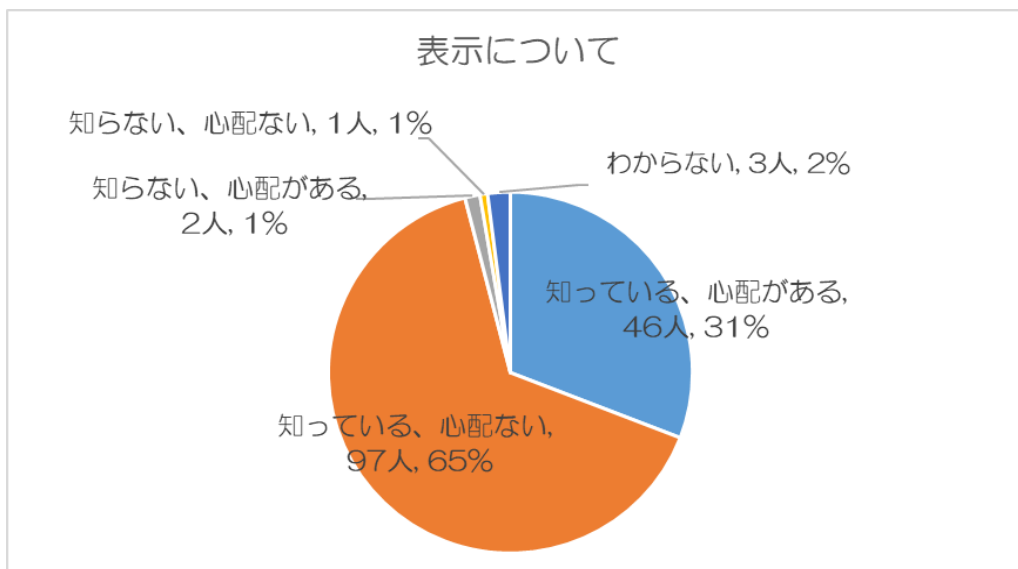
【単一回答】

食べ物の表示を「知っている」と回答した人が96%と、ほとんどの人が食べ物の表示について理解しています。また、食べ物の表示について、「心配ない」と回答した人は66%と、「心配がある」と回答した人の32%を上回りました。

このことから、食べ物の表示について、「心配ない」と回答した人の期待に応えられるよう、県が食品事業者に対して消費期限や原産地等の適正な表示をお願いするとともに、食品事業者が適切な表示をしていることを、周知すべきであるとわかりました。

※参考 令和4年度の結果

「知っている」…95% / 「知らない」「わからない」…5%
 「心配がある」…37% / 「心配ない」…61%



Q7 遺伝子組み換え作物(いでんしくみかえさくもつ)を知っていますか。
また、その遺伝子組み換え作物の食べ物は心配ですか。

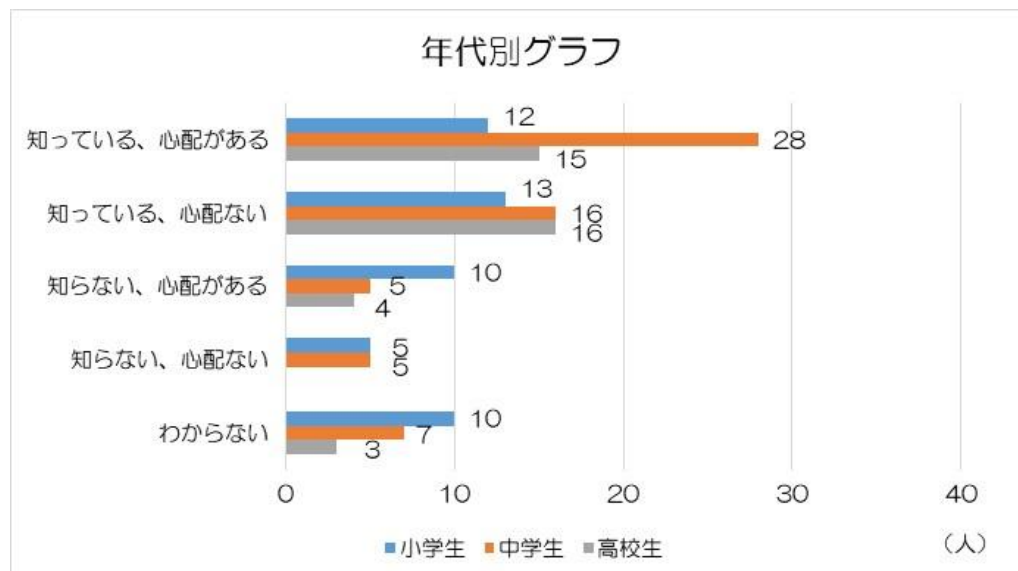
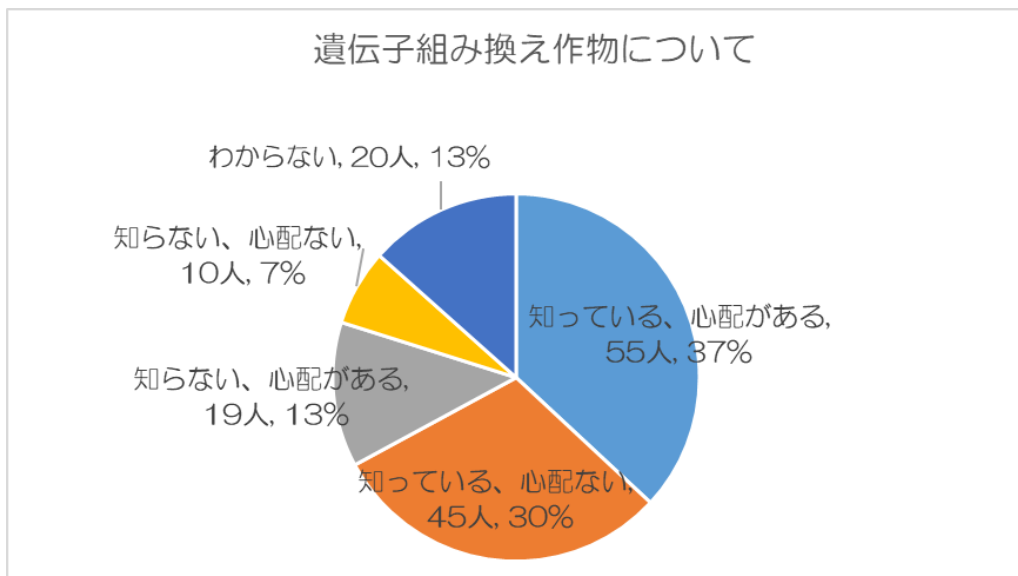
【単一回答】

遺伝子組み換え作物を「知っている」と回答した人は67%とやや低く、特に小学生で「知らない」「わからない」の回答が多くなりました。また、遺伝子組み換え作物の食べ物について、「心配がある」と回答した人は50%と、「心配ない」と回答した人の37%を上回りました。

このことから、遺伝子組み換え作物の良い面と、その安全性について、まずは知っていただくことが重要で、これらのことを周知すべきであるとわかりました。

※参考 令和4年度の結果

「知っている」…69% / 「知らない」「わからない」…31%
「心配がある」…46% / 「心配ない」…37%



Q8 食べ物についている細菌(さいきん)やウイルスなどによって病気(食中毒(しょくちゅうどく))になることを知っていますか。
また、その食中毒は心配ですか。

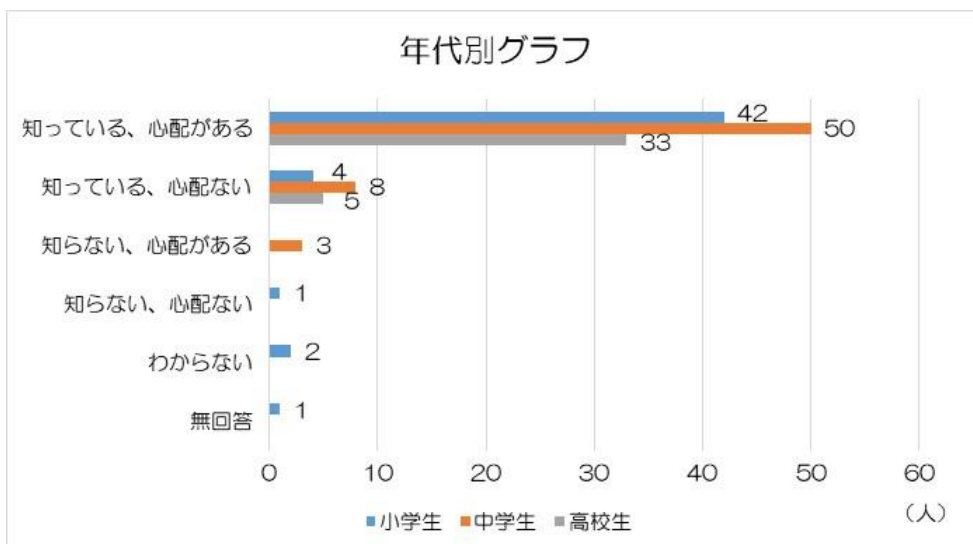
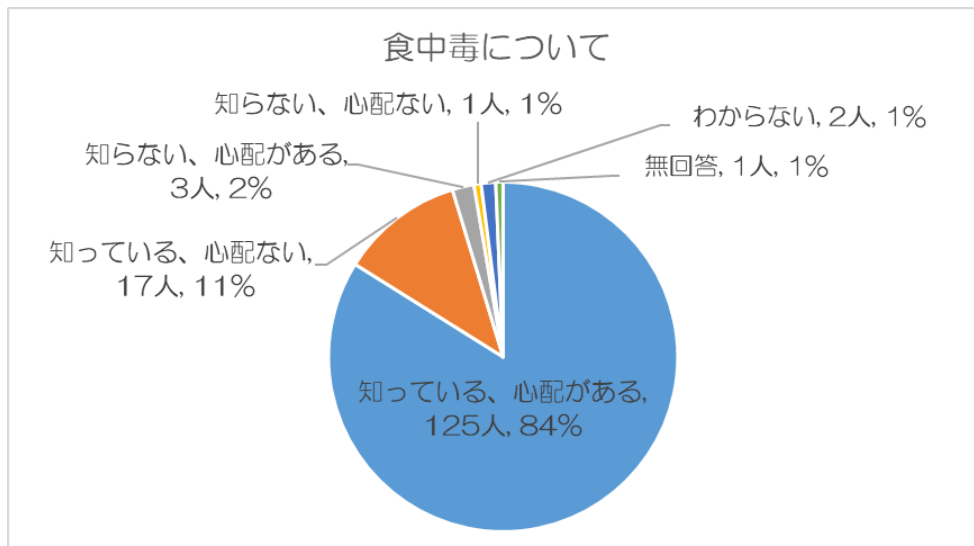
【単一回答】

病気(食中毒)になることを「知っている」と回答した人が、95%とほとんどの人が食中毒になることについて理解されています。また、食中毒になることについて、「心配がある」と回答した人は86%、「心配ない」と回答した人は12%と、8割以上の人々が病気(食中毒)について心配していることがわかりました。

このことから、消費者にも予防対策の知識が必要であり、食中毒予防の3つのルール ①つけない、②増やさない、③加熱する をしっかり周知すべきであるとわかりました。

※参考 令和4年度の結果

「知っている」…97% / 「知らない」「わからない」…3%
「心配がある」…87% / 「心配ない」…12%



Q9 卵（たまご）やえび、かになどを食べることで、かゆみやじんましんが出る食物アレルギー反応（はんのう）を知っていますか。
また、その食物アレルギーは心配ですか。

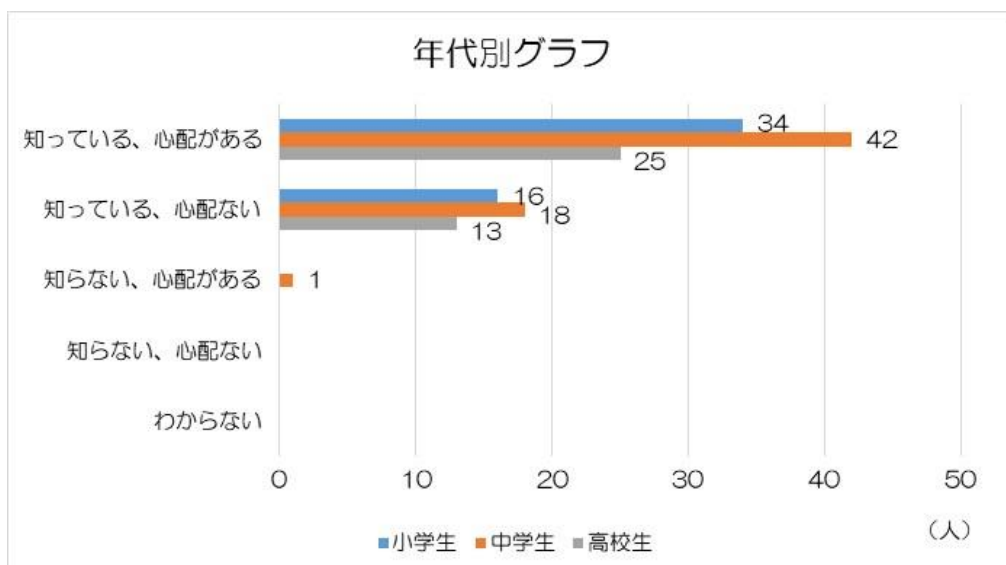
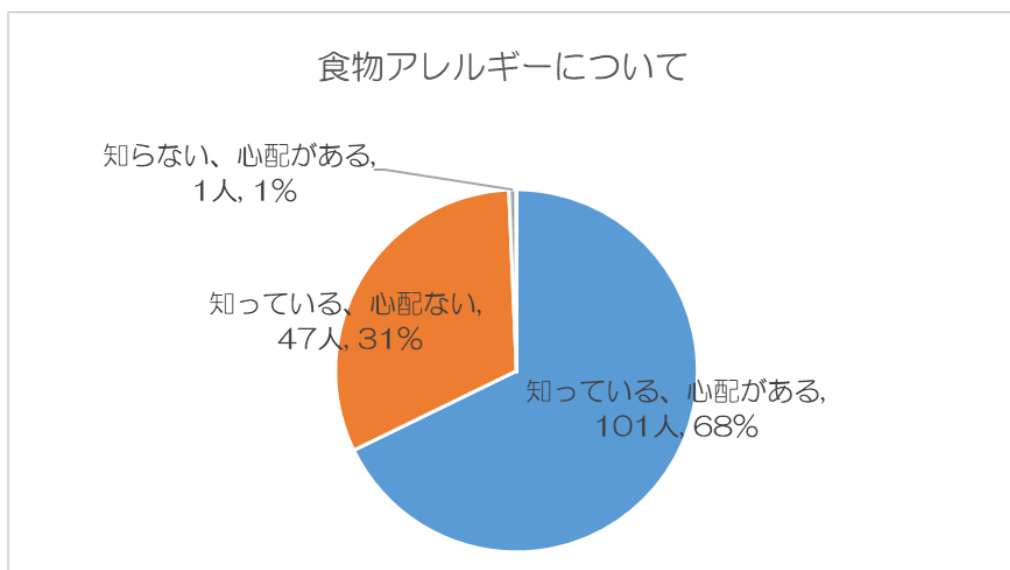
【単一回答】

食物アレルギーを「知っている」と回答した人が99%と、ほとんどの人が食物アレルギーについて理解しています。また、食物アレルギーについて、「心配がある」と回答した人は69%と、「心配ない」と回答した人の31%を上回りました。

このことから、食物アレルギーをもつ人は、アレルギーを起こす食品を避けなければならないことを正しく理解して、食品表示によって、どんなアレルギーが含まれるか把握できることを、周知すべきであるとわかりました。

※参考 令和4年度の結果

「知っている」…95% / 「知らない」「わからない」…5%
「心配がある」…56% / 「心配ない」…42%



Q10 食べ物を安心して食べるために、気をつけていることを教えてください。

例) できるだけ三重県産の食べ物を選んでいる。

アレルギー物質の有無や種類を確認(かくにん)している。

【自由回答】

「消費期限や原産地表示に気をつけている」と回答した人が53人と最も多くなりました。また、次に多いのは、「国産かどうか気をつけている」と回答した人が32人、「食中毒や異物混入に気をつけている」と回答した人が22人でした。一方で、「添加物」、「農薬」、「食物アレルギー」(9人)、「遺伝子組換え」(0人)は少ない結果となりました。

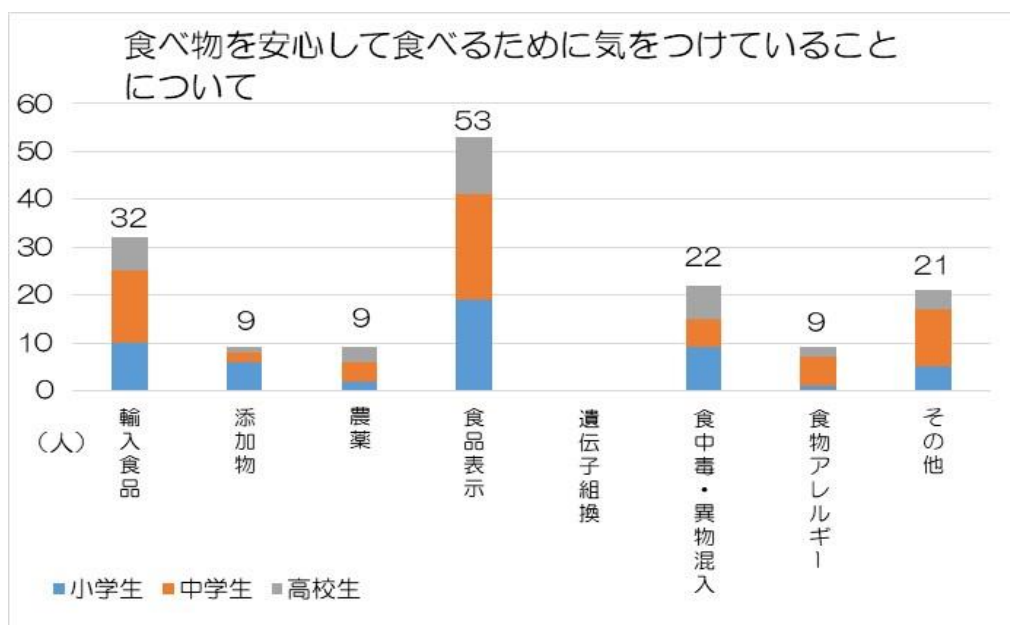
このことから、国産かどうかも含めた原産地の表示、消費期限の表示や、食中毒や異物混入を防ぐための取組に関心が高いことがわかりました。

食品事業者による食品表示やHACCP(ハサップ、安全な食品をつくるための管理方法)の取組の推進と、その取組を消費者へ周知することの重要性がわかりました。

その他の意見として、「特にない」「地産地消」「食べ物も見た目を確認する」「一度食べてみる」「食べる前に手を洗う」「わからない」など、コメントがありました。

※令和4年度の結果(回答の多い順に3つ)

- 1 「食中毒や異物混入に気をつけている」…53人
- 2 「国産かどうか気をつけている」…31人
- 3 「消費期限や原産地表示に気をつけている」…25人



Q11 安全に食べ物を食べるために、どんなことを知りたいですか。

例) 食べ物の原産地。

どんな環境(かんきょう)でつくられているか。

【自由回答】

「食品表示について知りたい」と回答した人が39人で最も多くなりました。次に多いのは、「食中毒や異物混入など生産工程の管理手法について知りたい」と回答した人が34人、「農薬の使用状況について知りたい」と回答した人が23人でした。そして、「添加物」(16人)、「輸入食品」(9人)、「遺伝子組み換え」(3人)、「食物アレルギー」(1人)という結果となりました。

このことから、安全に食べ物を食べるために必要な情報を知るための手段として、順位の前後はありますが、令和4年度に引き続き「食品表示」と「食中毒や異物混入」、「農薬の使用状況」について高いことがわかりました。

食品事業者による食品表示と生産工程の管理手法、それぞれの取組の推進とその内容を周知することの重要性がわかりました。

「その他」の意見として、「作っている人や場所、その環境について知りたい(写真含む)」「避けたほうがよい食べ物の見分け方」「消費者に届くまでの過程」など、さらに詳しい情報を求めるコメントが多く、「わからない」「特になし」などのコメントが少なかったため、だんだんと食べ物の安全について関心が高まっていることがわかりました。

※令和4年度の結果(回答の多い順に3つ)

- 1 「食品表示について」…46人
- 2 「農薬の使用状況について」…25人
- 3 「食中毒や異物混入などを防ぐ生産工程の管理手法について」…21人

